

輸血に関するアンケート調査票 記入(入力)要領

※デスクトップ等に一度保存してから、Excel ファイルをお開きください。

※「セキュリティの警告」のメッセージバーが表示された場合は、「コンテンツの有効化」をクリックし、すべてのコンテンツを有効にしてください。

※さらに「このファイルを信頼済みドキュメントにしますか？」とメッセージが表示された場合には、「はい」をクリックしてください。(ネットワーク上でファイルを開こうとすると、このメッセージが表示される場合があります。)

調査票は、Excel シートの **着色されているセル** への記入(入力)をお願いします。

調査票は、12ページまであります。

<入力方法>

*文字や数字を入力する。

*チェックボックスをクリックして を入れる。

1. 医療機関について

設問1) 輸血管理料の取得について

2016年1月1日から12月31日までの輸血管理料等の取得状況について該当する項目を選択してください。

設問2) I & A認定(施設の安全対策の保証)状況について

I & Aの認定状況について該当する項目を選択し、取得済みまたは取得予定の時期を記入してください。

2. 輸血療法委員会等について

設問1) 輸血療法委員会の設置について

輸血療法委員会の設置状況について該当する項目を選択し設置年月日を記入してください。輸血療法委員会を設置していない場合は、2)でその理由を選択してください。

設問6) 輸血療法委員会の職種別人数について

輸血療法委員会等の構成員である看護師及び臨床検査技師については、各学会の認定を受けている人数も記入してください。

3. 輸血の保管方法及び管理について(指針等)

該当する項目を選択してください。その他を選択した場合は、太枠内に記入してください。

4. 輸血用血液製剤使用状況

設問1) 輸血用血液製剤使用・廃棄状況

血液製剤の使用数量及び廃棄数量を記入してください。

単位数(青のセル)もしくは本数(赤のセル) どちらか一方を記入してください。

設問2) 輸血用血液製剤の在庫状況

血液製剤の常備在庫の有無について該当する項目を選択し、数量を記入してください。

単位数(青のセル)もしくは本数(赤のセル) どちらか一方を記入してください。

5-1. 輸血患者について

設問1) 年代別及び男女別輸血状況

輸血実施の有無について該当する項目を選択し、「有」を選択した場合は、年代別及び男女別に調査対象年（1月～12月）に輸血した実人員数を記入してください。

なお、同一人が最後に輸血を受けてから、30日以上間隔をおいて輸血を再開した場合は、それぞれ一人として算定してください。

設問2) 疾病別輸血状況（輸血患者数）

2016年7月（1か月分のみ）に輸血した患者数を主要疾病別に記入してください。

悪性新生物であれば、「血液及び造血器」「消化器系」など部位別には分類せず、「悪性新生物」としてください。

設問3) 疾病別輸血状況（輸血単位数）

2016年の7月（1か月分のみ）に輸血した単位数（200mLを1単位と換算した数；単位（ユニット））を主要疾病別に記入してください。

悪性新生物であれば、「血液及び造血器」「消化器系」など部位別には分類せず、「悪性新生物」としてください。

5-2. 輸血患者について ★5-2は、病床数200床以上の施設のみご回答ください。

設問4) 診療科別輸血状況（輸血患者数）

2016年（1月～12月）に輸血した患者数を診療科別に記入してください。

設問5) 診療科別輸血状況（輸血単位数）

2016年（1月～12月）に輸血した単位数を診療科別に記入してください。

6. 自己血輸血

自己血輸血実施の有無について該当する項目を選択し、「有」を選択した場合は、診療科別に自己血輸血を行った単位数（200mL換算）を記入してください。

その際、実際に標ぼうしている診療科ではなく主要疾病の臓器別に当てはめて記入してください。

なお、方式を併用した場合は、それぞれに算定してください。使用量の合計と診療科別輸血状況の合計は必ず一致します。（なお、方式を併用した場合はこの限りではありません。）

7-1. 血漿分画製剤使用状況 7-2. 血漿分画製剤使用状況（血液凝固因子製剤）

血漿分画製剤使用の有無について該当する項目を選択し、有を選択した場合は、規格ごとに使用本数を記入してください。

グロブリン製剤は、「筋注用免疫グロブリン」「静注用免疫グロブリン」「特殊免疫グロブリン」の3種類に分類しています。

接着剤（例：ペリプラスト、ボルヒール、タコシール）等については、使用数量（本数、枚数等）を記入してください。